

目標の進捗状況報告書

(2012年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	人間福祉学部
大項目	6 教育内容・方法・成果
中項目	6.4 成果
小項目	6.4.1 教育目標に沿った成果が上がっているか。
要素	学生の学習成果を測定するための評価指標の開発とその適用 学生の自己評価、卒業後の評価（就職先の評価、卒業生評価）
小項目	6.4.2 学位授与（卒業・修了判定）は適切に行われているか。
要素	学位授与基準、学位授与手続きの適切性 学位審査および修了認定の客観性・厳格性を確保する方策（院）（専門）

II. 目標の進捗評価と進捗状況報告(2012.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。

進捗評価はA、B、C、Dの4段階とし、2012年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 授業時間内におけるコメントカードによる学生の理解度・到達度を全科目で確認する。	→コメントカードによる学生の理解度・到達度確認の実施。	B	B	B		
2. 学部における成績上位者を公表する。	→成績上位者の公表。	A	A	A		
3. 専門的人材を養成できたかどうかを評価する。	→社会福祉士・精神保健福祉士の国家試験資格取得者の合格率、中学校・高等学校教員免許取得者数、公務員試験合格者数、初級障害者スポーツ指導員資格・キャンプインストラクター資格取得者数、福祉・健康関連施設・機関への就職率、福祉・健康・国際援助関連NPO・NGO団体への就職率、大学院進学率、社会起業の立ち上げ数。	—	—	B		
4. 中学校・高等学校教員、公務員、福祉・健康関連施設・機関、福祉・健康・国際援助関連NPO・NGO団体といった教育目標に合わせた就職を実現する。	→就職の実績数値。	—	—	B		
5. 総合的な質的評価を開発する。	→総合的な質的評価の実施回数。	D	D	C		
				☆		
2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

《進捗状況》

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	科目担当教員によって実施内容はさまざまであるが、各授業においてコメントカードを用いた学生の理解度、到達度の把握に努めている。
目標2	学年末において、学科ごとにGPA上位5%の学生を学年ごとに顕彰している。
目標3	社会福祉士・精神保健福祉士の国家試験資格の取得、中学校・高等学校教員免許、初級障害者スポーツ指導員資格・キャンプインストラクター資格といった種々の専門資格取得、ならびに公務員試験の合格や大学院への進学等もしている。
☆ 目標4	中学校・高等学校教員、公務員、福祉・健康関連施設・機関といった教育目標に合わせた種々の専門職種に就職している。
目標5	総合的な質的評価について検討している。
備考	